

消化管組織内に免疫染色法でリケッチア抗原が証明された。その後、日本紅斑熱患者の飼い犬4頭、猟犬1頭の血液を採取しイヌの抗体検査(IP)を行い*R. japonica*で5頭中2頭で陽性、1頭疑陽性となった。人獣共通感染症としてのペットや家畜の関わりに関する研究は今後重要な課題であると考えられる(Mahara, 2005) (図6)。

Reservoir ? or Carrier ? or Patient ?



* In summer 2004, a dog kept by the JSF patient died. The autopsy revealed the dog suffered from SFG rickettsiae infection.
* The study on a role of dog in the endemic area of JSF has started.

図6 犬は日本紅斑熱の保有体、伝播者、患者？
4th International Conference on Rickettsiae and Rickettsial Diseases in Logrono (La Rioja), Spain in June 18-21, 2005. にて供覧の画像から。

仮説と展望：臨床的立場から現状における問題点を指摘しておきたい。

1. 医師以外の方は以外に思われるかも知れないが、日本紅斑熱に対する健康保険適応薬は1つもない。わずかに恙虫病に対してミノサイクリンが適応とされているのみである。最近Q熱に対してレボフロキサシンが適応となった。
 2. 臨床検査においてもワイル・フェリックス反応のみが保険採用となっている。現在、感染症法による届け出基準となっている、IP法、IFA法、PCR法、免疫染色法などは全て保険の適応外である。
- ☆ すなわち、感染症法で届け出義務とされている日本紅斑熱は、診断法も治療法も保険の適応外であり、今後コンピュータによる保険審査となった時

は、まじめな医師は全て否定される可能性がある。日本紅斑熱の発見以来20数年が経つが、安心して早期発見、早期治療を啓蒙できる日が来ることを切望する。

引用文献

藤田博己, 高田伸弘, 矢野泰弘, 馬原文彦 2002 わが国におけるマダニ種と紅斑熱群リケッチアの多様性. 虫の知らせ(高橋優三・粕谷志郎編) pp.93-101. 三恵社 名古屋.

福田靖, 西村匡司, 馬原文彦 2005 急性心筋炎を合併した日本紅斑熱の一例. 日本臨床救急医学誌 8(2): 170.

Mahara, F. 1997 Synopses, Japanese spotted fever: Report of 31 cases and review of the literature. Emerg Infect Dis 3: 105-111.

馬原文彦 2004 日本紅斑熱—感染症の診断・治療のガイドライン. 日本医師会誌 132: 146-147.

Mahara, F. 2005 Rickettsiosis in Japan and Far East. Abst 4th Int Conf Rickettsiae and Rickettsial Dis in Logrono, Spain: O-12.

馬原文彦 2006 日本紅斑熱の治療—重症例, 死亡例の検討と併用療法の有用性 病原微生物検出情報. 27(2): 37-38.

Mahara, F. and Fujita, H. 1998 Japanese spotted fever-clinical analysis and laboratory examinations. Abst Int Conf on Emerg Infect Dis, CDC, Atlanta: 101.

馬原文彦, 藤田博己, 堤 寛, 下村龍一 2005 日本紅斑熱早期診断の試み(1). 感染症誌 79: 254.

馬原文彦, 古賀敬一, 沢田誠三, 谷口哲三, 重見文雄, 須藤恒久, 坪井義昌, 大谷 明, 小山 一, 内山恒夫, 内田孝宏 1985 わが国初の紅斑熱リケッチア感染症. 感染症誌 59: 1165-1172.

高田伸弘, 石畝史, 藤田博己 2006 福井県で初めて確認され血清学的に*R. helvetica*感染が示唆された症例. Infect Agents Surveillance Rep 27: 40-41.

堤 寛, 馬原文彦 2006 日本紅斑熱の早期診断: 皮膚生検を利用した免疫染色の実用性. 病原微生物検出情報 27(2): 38-40.

Uchida, T., Uchiyama, T., Kumano, K., Walker, D.H. 1992 *Rickettsia japonica* sp. nov., the etiological agent of spotted fever group rickettsiosis in Japan. Int J Syst Bacteriol 42: 303-305.